

### 救命法

#### 1 意識の確認

声をかけ、肩を軽くたたき、確認する。反応がなかったり、鈍かったりする場合は、協力者を求め、119番通報とAEDの手配を依頼して、気道確保を行う。



#### 2 呼吸の確認

(見る、聴く、感じる)

- ① 気道確保したまま、耳を傷病者の口元に近づけ、視線を傷病者の胸のほうへ向ける。子どもの首は柔らかいので、後方に傾け過ぎないようにする。

#### ② 胸のあたりが上下に

動いているか見て、呼吸音を5～10秒以内で確かめる。呼吸していることが確認できた場合は、気道確保を行い、救急車の到着を待つ。確認できない場合は、速やかに胸骨圧迫を行う。



### 4 骨折

- ① 全身及び患部を安静にする。
- ② 患部を固定する。(骨折した手足の末梢を観察できるように、手袋や靴、靴下などを予め脱がせておく。)
- ③ 骨折部が屈曲している場合、鋭利な骨折端が神経、血管などを傷つける恐れがあるので、そのままの状態で固定する。
- ④ 固定後は、傷病者の最も楽な体位にする。腫れを防ぐために、患部を高くして冷やす。
- ⑤ 全身を毛布などで包み、保温する。
- ⑥ 医療機関に搬送する。

- ① 全身及び患部を安静にする。
- ② 患部を固定する。(骨折した手足の末梢を観察できるように、手袋や靴、靴下などを予め脱がせておく。)
- ③ 骨折部が屈曲している場合、鋭利な骨折端が神経、血管などを傷つける恐れがあるので、そのままの状態で固定する。
- ④ 固定後は、傷病者の最も楽な体位にする。腫れを防ぐために、患部を高くして冷やす。
- ⑤ 全身を毛布などで包み、保温する。
- ⑥ 医療機関に搬送する。

### (3) 刺し傷

- ① 毛抜きでつまんで抜く。
- ② 傷口を消毒する。
- ③ 傷口が大きければ、ばんそうこうを貼る。

針、ガラス、刃物などが刺さっている場合  
抜かないで医療機関に搬送する。細かな破片が刺さっているときは、傷口に触らないようにして、医療機関に搬送する。

② ささっている状態が動かせない場合は、119番通報して救急車で搬送する。

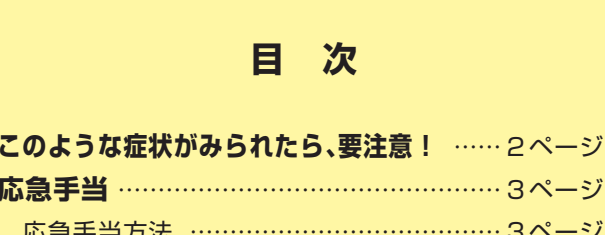
### 5 熱中症

- ① 風通しが良い日陰や冷房の効いた所に運び、衣類をゆるめて楽にする。
- ② 本人が楽な体位にする。顔面が蒼白で脈が弱いときには、足を高くした体位にする。
- ③ 意識があり、吐き気や嘔吐などがなければ、水分補給をさせる。スポーツ飲料か、薄い食塩水などを飲ませる。
- ④ 皮膚の温度が高いときは、水で全身の皮膚をぬらし、あおいで風を送り体温を下げる。
- ⑤ 皮膚が冷たかったり震えがあったりするときには、乾いたタオルなどで皮膚をマッサージする。
- ⑥ 熱痙攣や熱疲労の症状がおさまらないときは、急いで医療機関に搬送する。
- ⑦ 意識がないときは、救命法の手順(P7～)により手当を行う。

- ① 水道水などで土や泥をよく洗い流す。
- ② 傷をオキソドールなどの消毒薬を使い消毒する。消毒薬を傷口にたらし、出してきた泡を滅菌ガーゼでそっと押さえるようにふきとる。
- ③ 滅菌ガーゼを患部に当て、ガーゼの上からばんそうこうを巻く。必要に応じて包帯を巻く。

(2) 切り傷(傷が深い場合)  
① 滅菌ガーゼを傷口に当て強く押さえ止血。  
② 傷口を強く押さえたまま、傷口のあるところを心臓よりも高い位置に固定する。  
③ 出血がひどい時は止血点※も圧迫する。  
④ ガーゼの上から包帯を巻いて医療機関に搬送する。

① 止血点  
※ 止血点の場所は左のイラストを参照



傷口からの出血には、毛細血管からの出血、静脈からの出血、動脈からの出血の3種類がある。そのうち、深刻なのは動脈からの出血である。この場合は、傷口を直接圧迫するほかに、止血点(傷口よりも心臓に近く、外側から圧迫できる動脈部位)を圧迫しから止血が必要がある。止血と同時に救急車を呼び、一刻も早く医療機関で手当する。

③ 3きず

### 3きず

(1) すり傷

① 水道水などで土や泥をよく洗い流す。

② 傷をオキソドールなどの消毒薬を使い消毒する。消毒薬を傷口にたらし、出してきた泡を滅菌ガーゼでそっと押さえるようにふきとる。

③ 滅菌ガーゼを患部に当て、ガーゼの上からばんそうこうを巻く。必要に応じて包帯を巻く。

(2) 切り傷(傷が深い場合)

① 滅菌ガーゼを傷口に当て強く押さえ止血。

② 傷口を強く押さえたまま、傷口のあるところを心臓よりも高い位置に固定する。

③ 出血がひどい時は止血点※も圧迫する。

④ ガーゼの上から包帯を巻いて医療機関に搬送する。

※ 止血点

① 止血点

② 止血点

③ 止血点

### 1 鼻血

- ① 座って軽く下を向き、骨折がない場合は鼻を強くつまむ。
- ② 顔から鼻の部分をやや、静かに座らせる。出血が止まっても、鼻をかんではいけない。
- ③ 出血が止まっても、鼻をかんではいけない。※このような手当てで止まらない場合は、深い部分からの出血を考慮して、医療機関に搬送する。

① 針が残っているものは、毛抜きで抜くか、横に払って落とす。

② 冷湿布をして医師の診察を受ける。

③ アナフィラキシーショックを起こすことがあるので、30分は経過観察をする。

### 2 ハチに刺された

応急手当方法

応急手当方法

応急手当方法

応急手当方法

応急手当方法

応急手当方法

応急手当方法

応急手当方法

応急手当方法

応急手当方法

応急手当方法

応急手当方法

応急手当方法

応急手当方法

応急手当方法

応急手当方法

応急手当方法

# 千葉県 放課後子ども教室 安全管理マニュアル

## ハンドブック



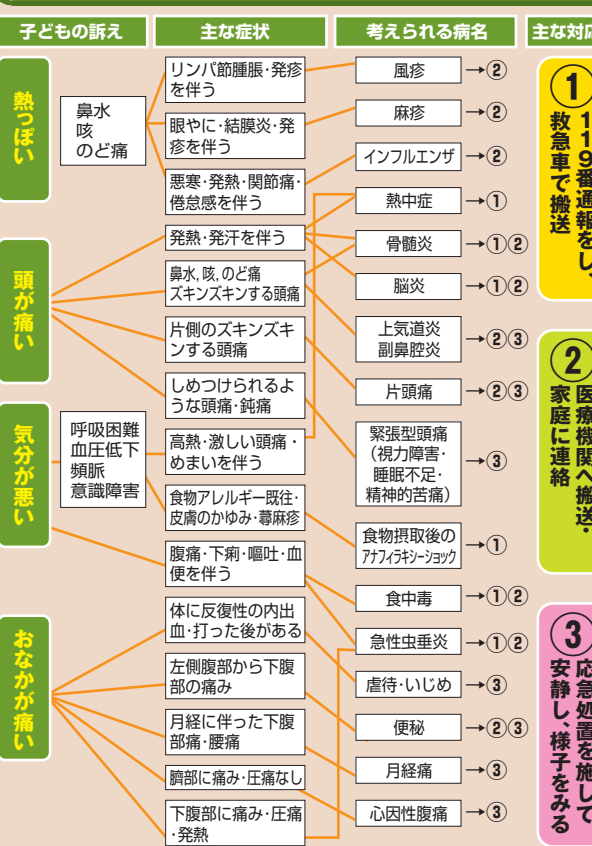
千葉県教育委員会

きりとり 山折 谷折

### 目次

- このような症状がみられたら、要注意! ..... 2ページ
- 応急手当 ..... 3ページ
- 応急手当方法 ..... 3ページ
- 1 鼻血 ..... 3ページ
- 2 ハチに刺された ..... 3ページ
- 3 きず ..... 4ページ
- 4 骨折 ..... 5ページ
- 5 熱中症 ..... 6ページ
- 救命法 ..... 7ページ
- 救命法のフロー図 ..... 10ページ
- 各種対応のポイント ..... 11ページ
- 1 けが・急病の発生時 ..... 11ページ
- 2 不審者侵入時 ..... 12ページ
- 3 火災発生時 ..... 13ページ
- 4 教室外の事件・事故発生時 ..... 13ページ
- 5 地震・津波発生時 ..... 14ページ
- 備忘一覧 ..... 15ページ

### このような症状がみられたら、要注意!



① 119番通報をし、救急車で搬送

② 医療機関へ搬送・家庭に連絡

③ 応急処置を施して安静し、様子をみる